

津山ふぁみ・さぽミニ通信

No.69 2022/2月

朝の冷え込みから一転、暖かな日差しが感じられるようになったある冬の日の午後、グリーンヒルズへと散歩に出かけました。ストライダーで遊んでいる2才ぐらいの男の子とその様子を見守っている両親に会いました。孫の姿とダブリ思わず声をかけると、「この間まで怖がって乗れなかったのに、いとこのお兄ちゃんに乗って見せてくれてから乗れるようになったんですよ」と、お父さんが教えてくれました。得意そうに乗っている男の子の微笑ましい様子をしばらく見せてもらってお別れをしました。

私たち大人もそうですが、憧れの人、尊敬する人、

目標とする人が身近にいと、少しでもその人に近づけるよう頑張れる気がします。

アドバイザーをしていてうれしい気持ちになることのひとつが、依頼会員の方から「いつかは自分もあの提供会員さんのような人になりたい」という言葉を聞くことです。素晴らしいモデルになってくださる提供会員の皆さんがおられるからこそ、後に続こうとする若い人たちが増えていくのではないのでしょうか。少しずつこの想いの輪が広がり、助け合いが当たり前に行われていくような地域になること、それがファミリー・サポの目標です。

ミニさろん

子育て中の方の気分転換を目的とした広場です。いつ来ていつ帰ってもOK。

毎月 第4水曜日
10:30~12:00
「さん・さん」和室で開催



今回は、ミニさろんの場を利用して行った顔合わせの様子をご紹介します。

顔合わせ

顔合わせは、サポートのための事前打ち合わせです。依頼会員と提供会員が子どもの様子や活動の内容について詳しく話し合います。



しっかりと子育てをされているなあと、感心しました。(提供会員)

可愛い子どもさんたちに会えて、ほっとするひとときが持てました。(提供会員)

ゆったりと過ごし、癒やされました。(提供会員)



コロナ禍で人とのふれあいが減り、不安も多い中、温かい雰囲気になった時間になりました。これからの思うと心配なことも多々あるのですが少し解消されました。(依頼会員)

皆さんの顔を見られてお話しもできて、楽しく安心しました。これからよろしく願います。(依頼会員)



阿波で待望の 移住生活

～憧れの生活を目指す 赤田綾さん～

Q1: 移住のきっかけは？

A: 夫は猟師で以前から水がきれいな所に住みたいという想いを抱いていました。子どもが生まれて3ヶ月後には、山形県へ生後1ヶ月の猟犬を受け取りに行きました。人が少ない地域であるなど移住条件がぴったりヒットした阿波に2018年4月に引っ越ししました。

Q3: 今後は？

A: 子どもが小学生くらいになったら^{ほうき}箒を手作りし、生計の足しにしたいです。そのために、箒の材料となる植物を育てて掃きやすく魅力ある箒を作りたいです。

今後夫が家づくりに挑むので、私は、手伝いをしながら合間に畑仕事をしようと思っています。また、昔からロバを飼いたいと思っていたので、もし実現したら薪などを運んで充実した暮らしを味わいたいです。

Q2: 生活の様子は？

A: 昨年11月、ようやく家の敷地内に山水をホースで引き込み、蛇口から水が出るようになりました。何かが詰まらない限り永遠に水が流れてくれるので本当に嬉しいです。

また、薪暮らしなので、その日に使う端材をなたで割ったり、山に入って枝を集めたりして食事の準備をします。洗剤などは環境に悪影響がないものを使っています。まだお風呂ができていないので、近くの温泉に週2回行っています。



webライター

～新しい仕事にチャレンジ！ 瀬畑史子さん～



Q1: 関心のあることは？

A: WEBライターの仕事に興味をもっています。

Q2: きっかけは？

A: 2年前から体調を崩しています。自宅で静養中に読んだ本の中にクラウドソーシングが出てきて、「WEBライターなら自宅で、休み休みでもできる」と思い立ち登録。少しずつ執筆をしています。

Q3: 今後の目標は？

A: WEBライターは、津山にいても都市圏にいても条件は変わりません。コロナ禍でオンライン取材が多いし、ミーティングもオンラインで行われます。これまでの経験が生かして、今までの人生を肯定することも気に入りました。体調と相談しながら2022年には本格的に取り組んでいきたいと考えています。ファミ・サポ会員の方にも、子育て中にもできるWEBライターのお仕事を知ってほしいです。

鏡野町で 子育てのネットワーク

～鏡野町の子育て支援をリード 西中利恵子さん～

Q1: どのような活動？

A: 鏡野町家庭“共育”支援チームで活動しています。不登校・ひきこもり・ニートの予防と子育ての不安要素の解消を目的に、2018年11月、鏡野町教育委員会生涯学習課の子育てに関する活動としてスタートしました。



Q3: 今後の目標は？

A: 子育ての諸問題を単一の施設や血縁関係内だけに閉じることなく、地域の人たちとの関係や世代間交流を通じて子どもの可能性を広げることを目指しています。そして、この活動を次世代へ繋いでいけるようにしたいです。

Q2: 具体的には？

A: 1つは子育ての悩みや困り事について会話し、育ち合う場所「ぼちぼちの部屋」の開催です。

また、他者の考えや悩みを共有する場「親プロ」を実施しています。

そして、鏡野町内で子育ての支援活動を行っているお母さんたちと町内の中高生のための居場所作りも検討しています。

Q4: そのために必要なことは？

A: 地域の自然や文化や人を活かした子育てを目指して取り組むために地域、多世代、行政と共に支援活動を行うことが必要だと考えます。

講習会 日程変更のお知らせ

参加者募集中!

提供会員・両方会員の皆さん

令和元年度より、5年に1回は救命講習及び事故防止に関する講習の受講が必須となりました。



子育てサポート講習会

子どもの事故予防と救急法

日 時：令和4年3月20日（日）

10：30～12：30

講 師：武川由佳さん（津山市健康増進課保健師）

日本赤十字社岡山県支部指導員

会 場：「さん・さん」（アルネ・津山5階）

定 員：15名程度

申し込み締切：3月13日（日）

託 児：あり（予約要）

申し込み：電話・FAXまたは直接センターへ

交流会のお知らせ

依頼会員交流会

親子で楽しむ リズムジャンプ

日 時：令和4年3月13日（日） 10：30～12：00

講 師：津田 幸保さん

美作大学児童学科准教授

一般社団法人スポーツリズムトレーニング協会代表理事

会 場：ベルフォーレ津山リハーサル室

対 象：4才～小学校3年生の子どもと保護者1人

定 員：10組

申し込み締切：3月6日（日）

託 児：あり（予約要）

申し込み：電話・FAXまたは直接センターへ



マスクの着用
手指の消毒を
お願いします

お問い合わせ 津山ファミリー・サポート・センター

T E L : 0868-31-8753 FAX : 0868-31-2534

〒708-8520 津山市新魚町17番地 アルネ・津山5階「さん・さん」内

<開館時間> 月・水～金 10：00～19：00 土・日 10：00～18：00

<休館日> 毎週火曜日・祝日・年末年始

会員数 1,048人（依頼会員：533人 提供会員：476人 両方会員：39人） 令和4年1月末現在